

声に出して読んだり、想ぞうしたことを書いたりして詩を楽しもう

春のうた

草野 くさの

心平 しんぺい

作

かえるは冬のあいだは土の中にいて
春になると地上に出てきます。
そのはじめての日のうた。

ほっ まぶしいな。

ほっ
うれし
いな。

みずは
つるつる。

かぜは そよそよ。

ケル
ルン
ク
ツク。

ああいいにおいだ。

ケル
ルン
ク
ツク。

いぬのふぐりがさいている。

ほっ
おおきなくもがうごいてくる。

ケル
ルン
ク
ツク。ケル
ルン
ク
ツク。

ステップ1 (とらえよう)

1 詩「春のうた」をくりかえし音読しましょう。



読んだ数だけ、
☆に色をぬろう



2 詩「春のうた」のかえるは、どんな気持ちでこのうたをうたったのでしょうか。また、場面のどんな様子が思いうかびますか。想ぞうしたことを書きましよう。

「ほっ」というくり返し
の言
葉は、やつと外に出たかえる
のわくわくした気持ちを表し
ていると感じたよ。



「まぶしいな。」というところからは、春の太陽のあたたかい光を思いうかべたよ。



わたしは、詩「春のうた」を音読して、

わたしは、詩「春のうた」を音読して、

3

想ぞうしたかえるの気持ちや場面の様子
がつたわるように、工夫して音読しまし
う。

音読の工夫には、
声の大きさ
声の速さ
声の調子
などがありましたね。



★ 春の詩を読んだり、これまでに学習した詩
を読み返したりして、場面の様子や気持ちを
想ぞうしてみましよう。

作者名

だいな

--	--	--	--	--	--	--

二年(上)で学習した詩「はながさい
た」をえらんでもいいですよ!

はなが さいた

まど みちお 作

はなが さいた

はなが さいた

はひふへ ほほほ

はなが さいて

みない ひと いな

はなが さいた

はなが さいた

ほへふひ ははは

はなが さいて

おこる ひと いな

